

KBS

케이बीएस株式会社

www.kbsjapan.com

【社内報ナルゲ】

날개 (ナルゲ)とは韓国語で翼(つばさ)を意味します。

vol. 59
January 2026

「内向き」な社会で、私たちが開く窓

昨年のナルゲで「日本は内向きになっている」と書きました。若者の海外留学者数の減少や、経済のガラパゴス化、さらには未知の価値観を避け、心地よい情報の輪に閉じこもる「エコーチェンバー」現象。確かに、かつての日本が持っていた「外の世界を貪欲に吸収しようとする熱量」は、少し影を潜めているのかもしれませんが。

しかし、社会が内向きになればなるほど、私たち翻訳会社の役割は重要度を増していくのではないのでしょうか。

内向きになるということは、外部との「壁」が厚くなるということです。情報の壁、言語の壁、そして心の壁。その壁に風穴を開け、外の世界にある新しい知見や、まだ見ぬ感動、あるいは異国のビジネスチャンスをお届けするのが私たちの仕事です。

翻訳とは、単に言葉を置き換える作業ではありません。閉塞感の漂う社会において、「外の世界には、こんなに面白い考え方がある」「まだこんな選択肢がある」という可能性を提示する窓を作る作業だと思うのです。

私たちが扱う一つひとつの案件が、誰かの視野を広げ、内向きになりがちな視線を再び世界へと向けるきっかけになるかもしれません。

「日本が内向きだ」と悲観するのではなく、そんな時代だからこそ、私たちは「世界への翻訳というパス」を出し続けたいものです。私たちが紡ぐ言葉が、社会の閉塞感を打ち破る爽やかな風になることを信じて、今年も頑張っていきましょう。

代表取締役 高 允 男

EXPO 2025 に行ってきました！

2025年6月13日(金)と9月26日(金)に行ってきました。
両日とも、猛暑日 avoidance つもりですが、とっても暑かった！
それでも暑さを押し返すような見どころ沢山の万博でした。

総務部 松本佳代子



入場前から行列！

地下鉄中央線、夢洲駅を降りた階段前から既に行列。写真は6月のものなので学生さんの遠足も多かったようです。この日でも「人が多いな」と思いましたが9月の駆け込み見学の時はもっと人が多くて満員電車のようにでした。



東ゲートのミャクミャク

東ゲートと西ゲートにはポーズの違うミャクミャクの像がありました。私は2回とも地下鉄で来場したので、東ゲート前の正座でお出迎えのミャクミャクしか見ることができなかったです。

(西ゲートは遠いのです……涙)



ドローンショー

ドローンショーの前に打ち上げ花火やウォーターショーを見て、ちょっとベンチで休憩していると、空中に小さな光が集まりドローンショーが始まりました。花火のような迫力はないですが、自在に形を変えていく様子は圧巻でした。





各国パビリオン

パビリオンの予約がなかなか取れず、入れたのはスペイン館と韓国館だけでした。韓国館では三面の壁の大きなスクリーンにショートムービーが映し出され、近い将来にはテレビがこんな風になるのかも?と思いました。出口に「在日同胞記念ウォール」というパネルがあって韓国語・日本語・英語の3か国語での説明が書いてありました。

中に入れずとも各国の特色あふれる外観を見て回るだけでも楽しかったです。



イタリア館



アゼル
バイジャン館



韓国館



スペイン館



大屋根リング



ギネス記録となった木造建築。両日とも本当に暑い日だったのですが、大屋根リングの下はひんやりと涼しく、風がよく通っていました。屋上へ上がるために長いエスカレーターを昇り、リングをぐるりと散策するつもりでしたが、半分ほどで諦めました。屋上は会場を一望できて、パノラマビューを楽しみました。



ガンダムパビリオン

残念ながら、パビリオンの中には入っていませんが、とても存在感のある像が立っていたので写真だけをパチリ。ご機嫌な様子に見えますね。本物のガンダムだったら、操縦できるんだろうな、と思いました。会場で動き出したら大騒ぎになるでしょうね（笑）



台日「工作方式改革」：價值觀映射出的兩種進化

台日の「働き方改革」：価値観が映し出す二つの進化



繁体中文翻譯者 謝欣茹

作為一個持續觀察台灣與日本文化及社會趨勢的人，我發現2025年兩國在「工作方式改革」的進展，已不僅是政策層面的變化，更是對「我們到底想如何生活？」這一根本問題的回答。

台灣改革給我的第一印象是極高的「實用主義」和「速度感」。2025年1月，台灣政府依據《最低工資法》迅速將最低工資調高了4.08%。這種對底層經濟保障的即時反應，讓我體會到台灣社會重視眼前生活品質的文化。相較於日本複雜的行政程序，台灣這種「該做就做」的效率，讓人感受到一份直接的關懷。此外，台灣最令我興奮的，莫過於對全球人才的「大開放」策略。數位遊牧簽證的發放，以及《外國專業人才延攬及僱用法》的大幅修訂，明確傳遞了一個訊息：「只要有才能，國籍不是問題，歡迎來台灣創造價值！」這種開放性深深影響了台灣的職場文化，跳槽是追求個人職涯成長的積極選擇，溝通也更為直白和不拘小節。台灣人這種「不被舊有框架束縛」的精神，正是他們在國際競爭中掌握主動權的關鍵。

相對於台灣的外向性，日本的改革則是一場細膩且充滿「制度溫柔」的內部轉型。2025年4月實施的《育兒・照護休業法》修訂，將子女看護假適用對象延長至孩子「小學三年級」，並將遠距工作導入列為企業對育兒者的「努力義務」。這種政策上的「體貼入微」是日本文化的體現。它不像台灣那樣追求速度與開放，而是用強大的法制框架，對最需要支持的群體進行制度性呵護，確保任何人在任何人生階段都能在組織內穩定下來。為應對勞動力短缺，日本加速推動高齡員工的持續僱用，以及「選擇性週休三日制」。這表明日本企業正在努力將「個人時間的靈活性」嵌入到固有的組織體系中。然而，這場改革也揭露了日本職場潛藏的心理問題。「安靜離職」和「白色騷擾」等現象的浮現，讓我意識到：即使沒有加班，心靈也可能生病。日本社會開始關注「心理安全」和「工作意義」，這場改革的深層次，其實是一場對傳統「為公司犧牲一切」價值觀的徹底反思。

觀察台日兩種不同的改革，我最大的感受是：未來的理想工作模式，是台灣的「靈活性」加上日本的「制度保障與品質」的結合。台灣教我「勇敢地為更好的機會移動」，日本則提醒我「即使在組織內，也要重視個人尊嚴和心理健康」。我相信，無論身在哪個國家，我們都應該像台灣那樣，保持對新機會的開放性；同時，也要像日本那樣，細膩地關注勞動環境的人本品質。

台灣と日本の文化や社会トレンドを継続的に観察している者として、2025年における両国の「働き方改革」の進展は、単なる政策変化にとどまらず、「私たちは一体どのように生きたいのか？」という根源的な問いへの回答になっていると感じています。

台湾の改革から受ける第一印象は極めて高い「実用主義」と「スピード感」です。2025年1月、台湾政府は『最低工資法』に基づき、最低賃金を迅速に4.08%引き上げました。この最下層の経済的保障への即時的な対応は、台湾社会が目の前の生活の質を重視する文化を体現しているように感じます。日本で複雑な行政手続きに直面するのとは比べると、台湾の「やるべきことはすぐやる」という効率性は、直接的な配慮として心に響きます。また、台湾で私が最も興奮を覚えるのは、グローバル人材への「大開放」戦略です。「デジタルノマドビザ」の発給に加え、関連法規が大幅に改正され、「能力さえあれば国籍は問わない、台湾で価値を創造してほしい!」という明確なメッセージが発せられています。この開放性は、台湾の職場文化にも深く浸透しており、転職はキャリアアップのための積極的な選択と見なされ、コミュニケーションも率直です。台湾人のこの「既存の枠組みに捉われない」精神こそが、国際競争において主導権を握る鍵になっているのではないかと感じています。

台湾の外向性に対して、日本の改革は、細やかで「制度的な優しさ」に満ちた内部変革であると言えます。2025年4月施行の『育兒・介護休業法』改正では、対象となる子の範囲が「小学校3年生修了まで」に引き上げられ、育児者へのリモートワーク導入が企業の「努力義務」とされました。この政策の「きめ細かさ」は日本文化の体现であり、台湾のようにスピードや開放性を追求するのではなく、強固な法制度の枠組みで、最も支援を必要とする層を制度的に守り、誰もが組織内で安定して働き続けられるように配慮しています。労働力不足への対応として、高齢者の継続雇用と「選択的週休3日制」を加速させています。これは、労働時間の柔軟性を既存の組織体制に組み込む努力です。しかし、この改革は日本の職場に潜む心理的な問題を露呈させました。「静かな退職」や「ホワイトハラスメント」といった現象の出現によって、たとえ残業をしていなくても、心が病んでしまうことがあるのだと気づかされました。日本社会は今、「心理的安全性」や「仕事の意義」に注目しており、この改革の深層には、伝統的な「会社への滅私奉公」という価値観への徹底的な反省があると感じています。

台日の異なる改革を観察して、私が得た最大の感想は、理想的な未来の働き方は、台湾の「柔軟性」に日本の「制度保障と品質」を組み合わせたものだということです。台湾は「より良い機会のために勇敢に動くこと」を教えてくれ、日本は「組織の中にも個人の尊厳と心の健康を大切にすること」を思い出させてくれました。私は、国に関わらず、台湾のように新しい機会に対して開放的であり続けるべきであり、同時に、日本のように労働環境の人的な品質に細心の注意を払うべきだと確信しています。

日本・韓国・中国・台湾などの漢字文化の国では、手紙や書物、公用文などはほとんど縦書きであった。印刷用の組版・編集もタテ組みが基本であった。

しかし印刷技術の発展は著しく、活版印刷ではタテ組が主流であったが、写植・電算写植・コンピュータによるDTPと進むにつれ、組版技術は飛躍的に進化しタテ組でもヨコ組でも自由自在に組めるようになった。韓国や中国ではヨコ組が主になっているが、日本ではタテ組・ヨコ組が混在している。

大手新聞をはじめ小説など読み物的なものはタテ組が多い。しかし数値や化学式・アルファベットなどの外来語の多い組版はタテ組では制限が多い。理数系の教科書や雑誌、論文などはヨコ組になっている。

ところが最近の新聞を読んでいると、タテ組においても算用数字の表記が増えている。(図1) タテ組用の2ケタ、3ケタの組み数字の表記も多い。特に見出しなどは字数が限られるからか、4ケタの表記も見られた。算用数字の方が一目で数字を把握できるという利点がある。漢数字では字数も増えるので限られたスペースの中での知恵かと思う。(図2) (図3)

ヨコ組では、数値や暦表記の途中で改行しないようにしていた。ところが、近頃タテ組では数値の途中で改行されているのを見かける。先日は、英語の単語を全角文字でタテ組し、単語の途中で改行されていた。全く日本語のかな文字扱いである。(図4)

ナカグロの扱いもいろいろなケースに適用されている。用語の並列などに使われているが、タテ組みでは数値の小数点のコンマとしてナカグロが使われている。数値は全角文字を使っている。(図5)

タテ組に限らず、数字の扱い、カッコの付け方、テン・マルの位置や付け方などこれからどのように変わっていくのか、編集や校正をしながらもそんなことが気になるこのごろである。

<p>られた。都営大江戸線開通から徒歩8分に立地し、1LDKと2LDKの計40部屋を貸し出す。同社の安住謙太郎担当部長は「業種で、シングルからファミリーまで入れる物件は駅周辺にあまりない」と話す。</p> <p>空室はほとんどない。重要なのは、賃料設定に反映させる。55平方メートルの2LDKの部屋は元々22万円だった。前の契約者が9月末に退去し、1万6千円(7・2%)高の23万8千円で募集したところ、1カ月足らずで次の入居者が決まった。</p> <p>賃地借家法は、契約更新などに際し、貸主による一方的な値上げは認められていない。ただ、物件上界などの「正当な理由」がある場合は、借り主との合意に基づいて引き上げられる。</p>	<p>同社が保有する物件の今年3月末時点の賃料を半年前と比べると、入居者が替わった場合は平均6・8%、契約更新では1・4%上がった。安住氏は近年の不動産相場の高騰で「賃料交渉がしやすくなってきた」と指摘。更新時の引き上げに際した入居者の割合は、同じ半年間で2割から3割に増えたという。賃料の引き上げは全国</p>
---	--

(図1)

戦争死者 376万人推計

政府は「戦没者310万人」

社人研調査

国の死に統計が存在しない日中戦争と太平洋戦争時期の1944年と昭和に亡くなった日本人は全体で約376万人と推計されることが、国立社会政策・人口問題研究所(社人研)の研究者の調査で明らかになった。戦争による死に数は約310万人にのぼると推計された。政府は戦没者が約310万人だったとしており、戦争被害が最小に抑えられていた可能性がある。

その結果、44、45年の日本人の死に総数は65万5千人(16万人)、直前の42、43年(計約238万人)の2・6倍だった。

(図2)

5700億円一括返済へ

政府・与党が方針

自賠責保険 一般会計への繰入金

自動車ユーザーが事故に備えて支払った保険料5700億円が、政府の特別会計から一般会計に繰り入れられたまま返済されていらない問題をめぐり、政府・与党が一括して返済する方向で検討していることが明らかにされた。特別会計が底をついたのを避けるために、2023年度には保険料に上乗せする「保険金」が引き上げられていた。

自民党の小林鷹之政調

(図3)

校正・文字起こしにも

朝日新聞社がこれまで、AIのリスクに配慮し、利用を進めてきた。

戦後60年の節目となった今年、朝日新聞は、中国新聞と長崎新聞とともに全国の被爆者へとアンケートを実施。8664人から寄せられた回答の自由記述欄を生成AIに分析させ、被爆者による被害を二度と繰り返してはならないという強い思いや、被爆体験の継承に対する危機感などを抽出、分類して取材のきっかけにする。

字や熟語が間違っていないかを校正する「Typoless(タイポレス)」や、会見や会議の内容を記者が人工で文字起こししていたのを自動化できる「ALOPAI(アロパイ)」などを実用化してきた。情報漏れへの心配がない社内用の生成AI「AshinAI(アシンAI)」の運用も始めている。(山本 隆一、朝日新聞)

(図4)

買えない層から需要 今後、

東京近郊をみると、シングル層は前年同月比10・7%減の10万4369人、ファミリー層は9・9%減の24万8000人、夫婦2人で80歳未満で上がった。

マンションの購入価格の高騰も、賃料上昇に拍車をかける。賃料が安い賃貸を選ぶケースが多い。家賃の賃料は供給数も少なく、家賃上昇につながっている」と語る。

今後の賃料相場について

「エレベーターが壊れたら、エレベーターの修理費を請求する。エレベーターの修理費は、エレベーターの寿命が尽きたら、エレベーターの買い換えが必要になる。エレベーターの買い換えは、エレベーターの寿命が尽きたら、エレベーターの買い換えが必要になる。エレベーターの買い換えは、エレベーターの寿命が尽きたら、エレベーターの買い換えが必要になる。」

(図5)

後厄を終えて再出発

翻訳部 呂咏鴻

日本といえば、桜。桜のシーズンの次は……藤！

2025 年も藤を見に行ってきました。ちょうど大阪・関西万博開催期間中だったので、人混みを避けて穴場の藤の名所として知られる京都の城南宮に行ってきました。城南宮は平安京の南を守る「城南鎮守」の由緒ある神社です。ここを選んだ理由としては、藤の花を楽しめるだけでなく、源氏物語ゆかりの庭園があり、歴史と雅な王朝文化を感じられる厄除けの神宮といわれているからです。実は、2025 年は私の後厄の年でした。ここ数年、前厄・本厄に続き、ようやく後厄を迎えました。いろいろありましたが、大きな災いはありませんでした。後厄ということで厄除け祈願に行こうと思っていました。そして、コロナが明けてから、休日の子連れお出かけはほとんどオーバーツーリズムの京都を避けていましたが、久しぶりに京都の穴場に足を運んでみようと思ったのです。

城南宮を訪ねたのは5月3日でした。残念ながら、神苑の池泉回遊式庭園「室町の庭」に設けられた藤棚の藤の花は、すでに見頃を過ぎていました。ところが、ちょうどその時期は、「藤の巫女神楽」が催される期間中でした。藤の巫女神楽とは、藤の花を冠に挿した巫女が藤の枝を手に持ち、神楽殿の表舞台で舞う神事です。舞の後には、健康と招福を祈念した「藤の花守り」を受けた方を一人ずつ巫女が神楽鈴でお祓いしていただきます。後厄の私も初穂料を納めて「藤の花守り」の特別授与を受け、お祓いをしていただきました。神社巡りは好きですがこれまで初詣や通常の参拝しか経験がなかった私は巫女の前で災いや穢れを払い清めていただく神事を体験したのは初めてでした。

そして、送り終えたばかりの 2025 年は、子どもが 10 歳になった年でもあります。子育てや人生の節目と言えるでしょう。厄が明けた 2026 年は気持ちをリセットして前向きに日々を過ごしていきたいと思います。



送走厄，重新出发

说到日本，就会想到樱花。樱花季过后……便是藤花的季节！

2025 年我也去赏藤花了。那时正值大阪・关西世博会期间，为了避开人潮，我选择前往京都一处据说是小众赏藤景点——城南宫。城南宫是一座守护平安京南方、被称为“城南镇守”的历史悠久的神社。选择这里的理由，不仅是因为能欣赏藤花，这里还有与《源氏物语》相关的庭园，能感受到日本历史与优雅的王朝文化，同时也是一座以“厄除（祓除灾厄）”闻名的神宫。其实，2025 年正是我的后厄之年。过去几年经历了前厄、本厄，如今终于到了后厄之年。这几年虽然发生了不少事，但幸好并无大灾。既然是后厄，我想那就去一次厄除祈愿吧。疫情结束以后，周末带孩子出游，我几乎都避开了现在被称为“过度旅游”的京都，这次久违地去探访一下京都的静谧之地吧。

造访城南宫是 5 月 3 日。遗憾的是，神苑内池泉回游式庭园“室町の庭”的藤架花期已过。然而，正好那段时间正在举行“藤之巫女神乐”活动。所谓“藤之巫女神乐”，是巫女（神社中的女性神职人员）头戴藤花冠，手持藤枝，在神乐殿舞台上起舞的神事。舞毕之后，领受了祈愿健康与幸福的“藤花护身符”的人，将由巫女逐一用神乐铃为其祓除厄运。身处后厄之年的我也奉上初穂料，领受了“藤花护身符”，并接受了巫女的祓除。虽然我喜欢巡游神社，但此前多是新年参拜或普通祈祷，在巫女面前接受消除灾厄的神事仪式还是第一次。

此外，刚送走的 2025 年，正好也是我孩子满 10 岁的年头——对我来说，也算是育儿与人生的一个转折年份吧。厄运消散的 2026 年，定能重整心情，继续前行。

2025年は

色々な

出来事を

ショートで

お伝えします。

制作部 稲木隆文

息子が成人式(はたちの集い)を迎えました

この間まで高校受験をしていたのに、あっという間に学校を卒業して就職もしていました。

車の免許も取り、もう立派な社会人です。



ソフトバンク・ホークス VS 西武・ライオンズの試合を観戦しました

今年もソフトバンクホークス主催、京セラドームでの試合へいきました。

前日時点の順位は、ライオンズが3位、ホークスが4位で4ゲーム差空いている状態、しかも柳田選手も近藤選手も周東選手もおらず、試合が始まる前はモイネロ選手が先発で投げる事ぐらいしか希望がもてませんでしたが、結果は6-1でソフトバンクの勝利でした。



この時はシーズン終了時の成績があのようなになるとは思ってもみなかったです。

娘が第一志望の高校に無事合格

驚いたのは生徒会に入ったことでした。



太子温泉に行きました

大阪府太子町の太子温泉に入った後、併設の食堂で卵かけご飯食べ比べセットをいただきました。

どの玉子もとても美味しかったです。あと館内のオブジェが「クセ強」でした。



当たらないで話題になったSwitch2

息子が欲しいというので量販店の募集に応募だけしておいたのですが、まさか第1抽選で当たるとは思ってもいませんでした。

ソフトはマリオカートのみでしたが、家族で楽しく遊びました。

「鬼滅の刃」を見に行きました

映画「鬼滅の刃」をMX4Dで鑑賞しました。MX4Dは、座席が動き匂いや振動・光が画面に合わせて連動するシステムです。テーマパークにあるアトラクションが2時間半続く感じで、めっちゃめっちゃ楽しかったです。少し料金は高いですが、機会があればぜひMX4Dで映画を見て欲しいです。



全国の書店、
アマゾンで発売中!

私の家族の生活史が出版されました!

いむ ばん じゃ
林 芳 子

石川亮太 著

「ある在日韓国人クリスチャン家庭の百年——大阪・^{いむ}林家の生活史」



かんよう出版 定価1,500円+税

この本は私(林芳子)自身の家族の生活史です。植民地だった朝鮮から渡航してきた両親、大阪で生まれた私たち5人のきょうだいの経験を、日本人研究者の立場から歴史のなかに置きなおして書いておられます。

私の祖父・李致洙は、明治維新の前年1867年、朝鮮北部地方で生まれました。朝鮮半島が舞台の日清・日露戦争の時期、キリスト教の信仰を得て牧師の道を歩み出しました。その末娘として母・李順謙は、韓国合併の前年1909年平壤近くで生まれ、3・1独立運動が起こるなど厳しい植民地での生活の中でも楽しい女学校時代を過ごしました。そして父・林学周と結婚のため当時内地といわれた日本・大阪に渡り家庭を築き私たち5人の子どもを育てました。

著者は、兄・林包球の手記「両親の歩み」を土台に、両親の信仰の証、母のメモ、私の作文やインタビューを織り交ぜながら書かれました。一つの事柄に対し必ずそれに関する統計や新聞記事などその裏付けを調べ、兄が書いたことでも、父が書いたことと照らし合わせながら……私たちが個人や家庭の体験と思っていたことが、歴史の流れの

中、特に日本の歴史の中で生活し生きてきた事に気づかれます。

著者は、資料やデータを調べるにとどまらず、その現場を訪れて確認されました。

特に母の足跡をたどるため、ソウル・崇義女子高等学校にある平壤崇義女学校資料室をご一緒に訪れました。母が残したメモや「仲良7人グループ」の写真で卒業生であることは明かですが、先生は学校側の資料にその証を見つけようとお考えでした。しかしその日、その証を見つけることが出来ず、帰阪後学校から送られた数100枚の写真の中に、当時の校長や級友と共に写った写真をみつけ、母が崇義で学んだことが確認されました。

また80年近く住んだ南方(大阪市淀川区西中島)の家にも足を運び、付近の路地の様子や淀川の堤防にも上がり、父や母、私たちの生活を思いやるご様子でした。

この地で100年以上にもわたる在日コリアンの歴史や記憶などの記事や資料が、書物・統計・新聞・警察の文書の中に多く残されて在るということに改めて気付かされました。石川先生は「その時代を一つのものとして引き受け、残された課題の幾分かでも軽くして次の世代に引き継ぐことは筆者の世代の務めであろう」と述べておられます。

年末年始休業日のお知らせ

過ぐる年も格別のお引立てとご愛顧を賜り、まことにありがとうございました。
年末年始を下記の通り休業させていただきます。
新しい年も、なにとぞお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

12月27日(土)～1月4日(日)

1月5日(月)午前中営業、1月6日(火)より平常通り営業いたします。



アマゾンにて
好評
発売中!

定価 1,200円+税

マダンの児 検索

【個人情報の取扱について】

この社内報「ナルゲ」は、お取引先・外注先・協力関連先の皆様にお送りしております。ケイビーエス株式会社は、お客様の個人情報を合理的かつ適切に管理し、業務の目的以外に使用いたしません。また、法令に基づき開示が義務づけられるなどの特段の事情がない限り、第三者に開示・提供することはありません。当社が管理するお客様自身の個人情報について、お客様から内容確認、修正・更新・削除の要請を受けた場合には、お客様の意思を尊重し、合理的な範囲で必要な対応をいたします。当社は、お客様の個人情報の保護に関する法令・規範を遵守すると共に、その取り扱いについては、適宜その見直しと改善に努めます。

発行日 2026年1月1日

編集／
発行 ケイビーエス株式会社
〒544-0033
大阪市生野区勝山北2-16-17
電話 06-6716-5665
FAX 06-6711-2804
E-mail info@kbsjapan.com
URL http://www.kbsjapan.com/

編集後記

●2025年の記事で“大阪・関西万博”について触れていないのは、“行っていないから”です。予約システムの複雑さや会場内が電子マネーだけだと聞いてあきらめました。跡地は整地され何年後かには立派な施設が建つそうなので、その時は遊びに行きたいと思います。

新しいMacが会社導入されました。2026年からは主戦力で使っていきたいです。(稲木)

●コロナ禍が明けて2年が経ち、大阪・関西万博が開催された2025年は依然として世界情勢が激動する一年でした。昨秋の急速な日中関係悪化はインバウンド業界にダメージを与え、直行便の減便により、私自身の両国間の家庭生活にも影響が及んでいます。今回の事態は恐らく長期化するとも言われており、ショックを受けていますが、一日も早い好転を願うばかりです。(呂)